

寺報 善巧 ぜんぎょう

発行

〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765)65-0055
FAX (0765)65-0975
http://www.zengyou.net



莊嚴寺様より寄贈の聖人像

寺
ごよみ

七月

一日 永代祠堂会

九日 永代祠堂会

一六日 永代祠堂会

二三日 永代祠堂会

寺
ごよみ

八月

一日 ほつこり法座

一日 こども盆おどり

一六日 お盆参り

納骨壇法要



親鸞聖人像（清河北斗氏制作）

永代祠堂会

故人を偲びお参りしましょう

七月一・九・一六・二三日

浄土真宗の教えの要を端的にあらわした「領解文（りょうげもん）」という蓮如上人の文章があります。善巧寺では拝読していただため馴染みはないと思いますが、日常聖典にも掲載されていますのでご覧ください。

領解文

よ」「お母さんよ」と繰返し伝えることによつて、それを真似て呼び始めます。呼ばれるほうが用意して子に渡すのが呼び名です。アミダさまは、「ナモアミダブツ」という呼び名を用意してくれました。だから、呼び名はただの名詞ではなく、ありったけの願いが込められた名前です。アミダさまの場合、その願いは四十八個あると仏説無量寿経にあらわされています。

私がどうなればよいのかという視点ではなく、仏さまの願いを聞いていく教えです。私を中心にするのか、仏さまを中心にするのかの違いです。その願いを受け入れた上での行いは、仏になるための修行ではなく、ありがたいの気持ちでつとめましようと呼びかけています。

赤ん坊が親の名を呼ぶようになるのは、子が親かどうかを確かめてから呼び始めるのではなく、親のほうと呼んで欲しい名前を用意して、「ママ

雪山俊隆

花まつりマルシェ

四月二十三日

雨が危ぶまれる中、なんとか曇り空で持ちこたえて開催しました。初参式と七五三に一組ずつの受式者を迎え、仏前でお祝いの儀礼を行いました。

マルシェは境内と会館に十一店舗。今回は照明店のグリーテックさんをはじめ半分ほどが初参加のお店となりました。フリーライブは昨年に続き「状況劇団パッチ」さん。アグレッシブで自由なパフォーマンスを披露してくれました。



展覧会 愚禿

造形作家の清河北斗さんを招き展覧会を開催しました。境内には大型作品が立ち並び、客間、裏庭、はなれ、お蔵に数々の作品が展示され、メインは依頼作品の親鸞聖人像です。

計十四日間、休日は百名以上、平日でも五十名前後の参加者があり、計千二百名以上の方が越しになりました。親子での参加者も多く、期間中ご法事のあった参拝者にもご案内させていただきました。



4～5月のほっこり法座は対談シリーズで行いました。今後も時折り行う予定です。

寺
ごみ

九月

- 一〇日 音沢報恩講
- 一日 音沢報恩講
- 二日 音沢報恩講
- 三日 音沢報恩講
- 一七日 音沢報恩講
- 一八日 音沢報恩講
- 一九日 音沢報恩講
- 二〇日 音沢報恩講
- 二二日 音沢報恩講
- 二四日 栗虫報恩講
- 二五日 栗虫報恩講
- 三〇日 栗虫報恩講



親子会
(生地ママ会企画)



ヨガ教室
(佐伯先生企画)



黒部名水マラソンに僧侶の姿?! 神子さんです

永代祠堂会

7月1日(月) 午後一時半

対象命日：1日～8日

9日(火) 午後一時半

対象命日：9日～15日

16日(火) 午後一時半

対象命日：16日～22日

23日(火) 午後一時半

対象命日：23日～31日

青木哲隆

ほつり法座

八月一日午前十一時



いごも盆おどろ

八月十一日午後六時半



お盆参り
納骨壇法要

八月十六日午前十時

お盆参りと、納骨壇の
追悼法要を行います。



23日 神子巧照さん



16日 藤島秀恵さん



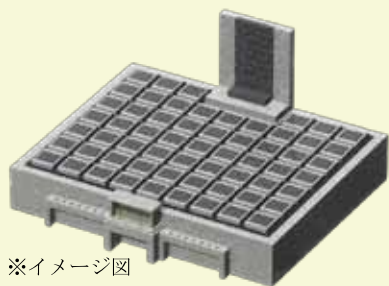
9日 高島康彦さん



1日 青木哲隆さん

合祀墓と樹木葬

本堂の納骨壇が五年で
ほぼ埋まり、残り数枠に
なりました。現在、裏庭
に合祀墓を建立中です。
合祀墓には、お骨を一カ
所にまとめて収骨するス
ペースと、樹木葬で知ら
れるような個別に二名分
までの納骨スペースを
六十カ所用意します。お
墓は丸田石材、裏庭の整
備は斎藤造園が手掛けて
います。



※イメージ図

九月頃に完成予定なの
で、次回寺報十月号に詳
細をお知らせする予定で
す。ご検討されている方、
予約ご希望の方はお寺ま
でご相談ください。

合 掌

春は花まつりと展覧会
が賑やかに行われまし
た。コロナ以降、感染対
策や万が一に備える意識
が強く、行事自体に集中
出来ない状態でしたが、
数年ぶりに全力で企画運
営ができてとても清々し
い気持ちです。

※ ※ ※

寺報表紙のとおり、善
巧寺には清河北斗氏制作
の親鸞聖人像と、山口県
莊厳寺様より寄贈の聖人
像、計二体をお迎えしま
した。莊厳寺様寄贈の聖
人像は、彫刻家でもある
前住職の白鳥文明氏が自
ら手掛けたもので、越後
時代の親鸞聖人が農作業
後に夕日に向かって手を
合わせている姿です。本
堂の納骨壇スペースにご
安置していますので、お
寺へお越しの際はぜひご
覧ください。